

1 研究目標

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践
～情報モラル教育の推進を通して～

2 情報教育部会研修会

- (1) 日時 平成 29 年 8 月 10 日 (木)
- (2) 会場 西条市立小松中学校パソコン教室
- (3) 内容
 - ① 情報モラル教育の現状
 - ② 情報モラルソフトウェア「Net モラル」の研修
 - ③ 各校の情報教育における取組やガイドライン等の共有

3 研修会での取組

情報教育部会研修の講師として、広島県教科図書販売株式会社の清水明様をお招きして、以下のような研修を行った。

(1) 情報モラル教育の現状

現状では、インターネットにアクセスすることが可能なガジェット（スマートフォン・タブレット端末・携帯ゲーム機）の普及により、いつでもどこでも誰とでも容易につながりができてしまう。親が使わなくなったスマートフォンを子どもに与え、Wi-Fi を利用して自由にインターネットにアクセスする例も一般的になってきた。SNS や動画投稿サイトなど個人情報を拡散させてしまう恐れのあるサイトに、児童・生徒が予備知識もなく無防備な状態で利用することで、様々な問題が起きている。一度インターネット上に載ってしまった個人情報は、完全に削除することは不可能である。最近では企業が個人名でネット検索を行い、不適切な投稿を行った人物を特定することも可能で、将来の就職活動にまで影響を及ぼしている。インターネットは便利なツールとしてだけではなく、多面性をもつことを低学年から子どもたちに指導していく必要がある。

(2) 情報モラル教育ソフト「Net モラル」の研修

西条市内の学校に設置されている電子黒板で利用可能なソフトウェア「Net モラル」の使い方を研修した。2017 年度に入って追加された項目もある。同じような題名でも、現状に合わせて古い事例から新しい事例に入れ替わっているものもあり、市内各校の児童・生徒の実例に合わせて活用していくことができると感じた。

また、あらかじめ設定されたインターネットに関わるトラブルの問題点と指導方法について、グループに分かれてワークショップを行った。児童・生徒に対する指導や保護者向けの啓発など、市内の先生方と話し合うことでこれらの問題について共通理解を図ることができた。

(3) 各校の情報教育における取組やガイドライン等の共有

各校が設定している情報教育の指導計画や個人情報の管理規定などを持ち寄り、先生方に配布した。こういった情報を共有する活動を通して、市内各校が児童・生徒の実態に合わせて、さらに内容を精査しながら改善していけるものとする。